

二人は
残酷で、美しい。



OFFICIAL SELECTION
RAINDANCE FILM FESTIVAL

イノセント 15

萩原利久 小川紗良

影山樹生弥 中村圭太郎 信國輝彦 木村知貴 久保陽香

山本剛史 本多章一 宮地真緒

甲斐博和 監督作品

監督・脚本・編集/甲斐博和 プロデューサー/前信介 撮影/本杉淳悟 照明/伊藤貴哉 録音/内田達也

VE/桜田公一 整音/根本飛鳥 カラリスト/玉田詠空 音楽/岡田太郎 TEYO

助監督/山之内優 制作/岩切一空 磯野龍紀 ヘアメイク/MAMI 川元麻衣 蓼沼仁美

スタイリスト/部坂尚吾 スチール/松井良寛 アソシエイトプロデューサー/クドウフミアキ 北里洋平

製作・配給/TOCA.TOKYO ©2016「イノセント 15」製作委員会

12.17

地方都市の静寂と喧騒の中、

とある秘密を抱えた同級生2人が惹かれあいながらも傷つけ合う、

かつてない程に切ないラブストーリー！

他人に興味が無いかのように振る舞う、15歳の少年、銀、

可憐ながらもたくましさを持った、15歳の少女、成美。

銀は野球に打ち込みながらもドロップアウト組のミンヤユウキとつるんでいる。

一方、成美はバレエを辞め、高校進学も母親に反対され、行き場を失っている。

そんな二人の生活に、受け入れがたい現実が軋んだ音を立てて近づいてくる…

無垢ゆえにまつぐな眼差しを持った二人が

手を伸ばそうとした、ある愛の行方。

主人公の銀役には、

『オケ老人！』『ちはやぶる』等、

映画、ドラマで活躍中の

若手実力俳優・萩原利久。

ヒロインの成美役には、

CM・ドラマで女優として活躍しながらも、

今年のゆうばり国際ファンタスティック映画祭で

監督としても注目を浴びている女優・小川紗良。

2人ともに映画初主演でありながら、

繊細に揺れ動く言葉にならない感情を見事に演じきっている。

銀の父親役には

山下敦弘監督の作品に欠かせない怪優・山本剛史。

成美の母親役には

NHK連続テレビ小説「まんてん」の

ヒロイン役で人気を博した・宮地真緒。

その他にも様々な実力俳優が脇を固め、

物語の彫りを際立たせている。

英国を代表する国際映画祭、

第24回レインダンス映画祭オフィシャルセレクション正式出品作、

待望のロードショー！



「十五歳という、大人とは一番コミュニケーションしづらい、
そして大人から見てもとらえづらい微妙な年齢の人
たちの呼吸の仕方のようなものをとても近い感覚で描いている。

監督が映画に対して抱えている希望のようなものも、
二人の十五歳のガラスのように壊れやすい関係性の中に見て取れた。」

(西川美和・映画監督 感想より)

15歳、人を愛せると思っていた。



2016年12月17日よりテアトル新宿にてレイトロードショー！

テアトル新宿

☎ 03-3352-1846

〒160-0022 東京都新宿区新宿3-14-20 新宿テアトルビルB1

丸ノ内線/都営新宿線 新宿三丁目駅B3番出口 徒歩3分

全席指定 / 入替制

料金 一般 1500 円 先行前売券 1300 円

JR線/京王線/小田急線 新宿駅東口 徒歩10分